

雑 報

昭和36年度実地調査の要綱

人口問題研究所では、昭和36年度の実地調査として、都市人口の発生的構成に関する調査を、昭和36年11月15日現在で実施する予定であるが、その要綱を掲げれば以下のようである。

都市人口の発生的構成に関する調査要綱

1 調査目的

わが国の人口は、都市、特に大都市およびその周辺都市での割合を増大しつつあるが、こうした人口の都市集中化は都市人口の発生源からみた構成をますます複雑なものにしている。そこには、他地域からの移動人口とともに当該都市自体で再生産された人口が含まれている。他地域からの移動人口といっても、農村出のものもあれば都市部から来るものもある。また当該都市において生みだされた人口にしても、親の代に移動してきた人口もあれば、それより先の世代に移動してきた人口もある。都市人口の発生源的相違は、単にこのような地域的な面にかぎられず、親の所属産業や社会階層の面からも考えられねばならぬ。

この調査は、以上のような都市人口の多様な発生的構成を明らかにするとともに、発生源の相違を基盤にして都市人口の労働力化形態や子どもの生み方にどのような相違があるかを明らかにし、都市人口の再生産構造、特に労働力の需給関係の分析に役立つ基礎資料をうることを目的とする。

2 調査地域

東京都……中央区、墨田区、江東区、葛飾区、大田区($\frac{1}{2}$)、杉並区($\frac{3}{4}$)、練馬区

愛知県……名古屋市(12区)

大阪府……大阪市の南区、北区、生野区、浪速区、東淀川区、大淀区、都島区、阿倍野区、天王寺区、旭区、東住吉区、住吉区

福岡県……若松市、八幡市、戸畑市、小倉市、門司市

計 1都1府2県(36区・市)

3 調査対象と調査方法

調査地域内に存する昭和35年国勢調査区の中から100分の1の調査区を任意抽出し、その中に含まれる全世帯の世帯員および夫婦を調査対象とする。

調査は世帯単位の調査票を各世帯に配布し、世帯主または、これに代わるべきものに記入してもらったうえ、点検回収する。

地域別の調査世帯概数、および調査区概数は次表のとおりである。

都市人口の発生的構成に関する調査の調査世帯概数および調査区概数

都府県市区	調査世帯概数	調査区概数	都府県市区	調査世帯概数	調査区概数	都府県市区	調査世帯概数	調査区概数
東京都			大田区($\frac{1}{2}$)	927	18	愛知県		
中央区	330	7	杉並区($\frac{3}{4}$)	1,054	21	名古屋市	3,250	65
墨田区	701	14	練馬区	794	16			
江東区	833	17	計	5,528	111	計	3,250	65
葛飾区	889	18						

都府県市区	調査世帯数	調査区数	都府県市区	調査世帯数	調査区数	都府県市区	調査世帯数	調査区数
大阪府			都島区	250	5	福岡県		
大阪市			阿倍野区	417	8	若松市	246	5
南区	150	3	天王寺区	200	4	八幡市	774	16
北区	188	4	旭区	360	7	戸畑市	256	5
生野区	550	11	東住吉区	628	12	小倉市	696	14
浪速区	205	4	住吉区	607	12	門司市	370	8
東淀川区	700	14				計	2,342	48
大淀区	147	3	計	4,402	87	総計	15,522	311

4 調査期日

昭和36年11月15日

5 調査事項

I 世帯員について

1. 氏名, 2. 世帯主との続柄, 3. 性別, 4. 満年齢, 5. 出生地, 6. 婚姻状態,
7. 教育程度, 8. 現在の職業, 9. 父の出生地, 10. 父のおもな職業

II 世帯内の夫婦と子どもについて

1. 夫妻の氏名, 2. 夫妻の結婚年齢, 3. 結婚前の職業, 4. 結婚前の常住地, 5. 兄弟数,
6. 姉妹数, 7. 子ども数, 8. 世帯内にいない15歳以上の子どもの父との続柄・性別・満年齢・現住所・現在の職業

6 調査票の配布および回収についての関係機関への依頼事項および必要印刷物

イ 調査票の配布および回収の際、照査票に調査地域名、国勢調査区番号、世帯番号、調査員氏名、照査票番号、調査対象世帯主氏名、各調査対象世帯の男女別人員数、配布および回収のしるしを調査員により記入してもらう。

ロ 調査票の配布の際、「調査についての御願い」という印刷物をともに配布してもらう。

ハ 調査員に対しては調査員証を配り、携帯してもらう。

ニ 調査票の配布および回収の際、調査票の左欄外の世帯番号、世帯主氏名を、および右欄外の調査地域名、調査区番号、調査員氏名を調査員により記入してもらう。

(研究部)

定例研究報告会

(昭和36年7月～10月)

<回>	<年月日>	<報告題名>	<報告者>
13	昭36. 7. 5	「都市人口の発生的構成に関する調査」における調査票のデザイン……………	宮川 技 官
14	昭36. 7. 12	交流率からみた大都市人口移動……………	黒田 技 官
15	昭36. 7. 19	「血族結婚部落に関する生体人類学的研究」の概説……………	篠崎 技 官
16	昭36. 7. 26	機械化農村における人口の動向……………	林 技 官
17	昭36. 8. 2	地域人口の労働力損耗状況について……………	荻野 技 官
18	昭36. 8. 16	在インド、ボンベイ人口センター第3回諮問	